

□議員名：中岡 英二

1 学校給食センターの現状と今後の課題について

論点	安心・安全な学校給食の提供について。食中毒事故防止対策はできているか。
回答	国の学校給食衛生管理基準及び大量調理施設衛生管理マニュアルを遵守し、安心・安全な学校給食の提供を行い、食中毒事故の防止に努めている。

論点	アレルギー事故防止対策はできているか。
回答	国の学校給食における食物アレルギー対応指針及び山陽小野田市学校における食物アレルギー対応の手引きに沿って、安全性を最優先したアレルギー対応食を提供している。

論点	異物混入事故防止対策はできているか。
回答	昨年度は21件の異物混入事案が発生しているが、危険物の混入はない。今後も異物混入防止マニュアルを遵守し、より一層の注意を図り、異物混入防止に努め、納入業者への指導を行っていく。

論点	学校給食センターでの食育の取組は十分にできているか。
回答	学校給食センターでの食育の取組として、小学生とその保護者を対象とした親子食育料理教室・各小中高校生の施設見学を実施している。回数の見直しや内容は引き続き検討していく。

論点	学校給食の残食量を減らすために、教育委員会は各学校の取組方をどのように指導されているか。
回答	各学校に残食量の結果を返して、各学校で学校給食の指導に役立っている。給食の取らせ方については、各学校の給食担当が学校給食の全体計画を作っている。

論点	学校給食センターでの青果物の地産地消の取組はどうか。
回答	日頃から納入業者に対して市内産・県内産の協力をお願いしている。

	特に6月・11月・1の県の地場産給食週間には納入の協力をお願いしている。今後も関係団体と調整し、地場産の利用率を向上していく。
--	---

2 スマイルキッズの利用状況と今後の課題について

論点	開所当初から遠方の地区からの利用者が少ないが、どのようなイベントを企画して遠方からの利用者を増やしていくのか。
回答	「保育士と遊ぼう」「ミュージックセラピー」「ベビーマッサージ」「ヨガ」など親子でリラックスできる講座などを開催し、単発講座から定例講座として回数を増やしていく。また、各交流センターに「スマイルキッズ」のポスターを掲示していく。

論点	身近な相談窓口である子育てコンシェルジュ事業の利用促進のPRをどのように行っているのか。
回答	「スマイルキッズ」の来館者への積極的な声かけや、各種検診の場や保育所にも積極的に訪問し、子育て世代の声を拾い上げ不安の緩衝・緩和に繋げていく。

論点	妊娠期から出産育児までの相談支援を行う「ココシエ」の利用状況はどうなっているのか。
回答	昨年度は、全妊婦の約8割の256件について保健師による全数面接を実施している。電話相談は589件、来所相談は719件と多くの子育て世代の方に利用していただき地域の中に浸透している。

論点	幼児検診や育児学級の子供たちの育ちを支援する母子保健事業を今後どのようにPRしていくのか。
回答	市広報や「すこやか山陽小野田」「スマイルキッズだより」「母子モ」などを活用して周知に努めているが、今後もLINE等のSNSを活用して更なる周知の工夫をしていく。

論点	ファミリーサポートセンター事業の現状と今後の課題をどう考えて
----	--------------------------------

	いるか。
回答	令和3年度は461件の利用があり、利用件数は横ばいの状況で、今後の課題は育児の援助ができる会員の確保が必要である。

論点	家庭児童相談事業の連携体制はどうなっているか。
回答	宇部児童相談所・各保育園幼稚園・各小中学校・主任児童委員・警察署等で構成する山陽小野田市子育て支援ネットワーク協議会を設置し連携を進めている。